※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代の国語」（数研出版）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店），入試頻出漢字＋現代文重要語彙ＴＯＰ２５００（いいずな書店），錬成現代文（尚文出版），読解を深める現代文単語（桐原書店），論理国語（大修館書店），現代評論２０（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理的な文章の読解を通して実社会の様態を多面的に捉え，加速度的に変容する社会の中で自分の生き方や社会の在り方について深く考えられる力を養っていきましょう。
・著者の意見を正確に読み取っていく中で，言葉が持つ可能性や価値への認識を深め，哲学，言語，芸術，環境，生命倫理など様々なテーマについて，幅広い教養を身に着け，語彙を増やしていきましょう。また，授業を通して関心を持ったテーマについて主体的に調べたり，関連本を読んだりするなどして考えを深め，思考したことがらを的確な言葉で表現する力を身につけることに努めていきましょう。読書を通じて，自らの思考が深まり，新たな世界が開かれる喜びも味わってほしいと考えています。本校の図書館も大いに活用してください。
・教材は必ず事前に一読し，わからない語句は，労をいとわず辞典で調べ，理解しにくい箇所をチェックして，授業で解決できるように準備しておきましょう。

２　学習の到達目標

・実社会の中で，自分の生き方や社会の在り方について，広く，深く，批判的に思考するための知識や技能を身につけるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉が持つ可能性や価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ，言葉を効果的に使い，他者や社会との関わりの中で自分自身について考えを深めようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会の中で，自分の生き方や社会の在り方について，広く，深く，批判的に思考するための知識や技能を身につけている。	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	評論① ・具体例の果たす役割を理解し、その意図を適切に読み取る。 ・「美」についての筆者の主張をとらえ、自分の考えを深める。 ［教材］ 高階秀爾「余白の美学」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	考えを表す① ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができるようになる。 ［教材］ 椹木野衣「絵を前に思いをめぐらす」 ズームアップ「芸術の価値とは」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	評論② ・小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の主張をとらえる。 ・科学に対する筆者の主張について自部の知識や経験などにもとづいて考えをもつ。 ［教材］ 中屋敷均「科学は生きている」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習の見通しをもって、本文の小見出しなどにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	考えを表す② 論理的な文章から読み取った内容を敷衍し，具体例を示す ［教材］ 福岡伸一「動的平衡の回復」	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[書]：目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にまとめている。 c：筆者の意見に基づいて実社会における事象を積極的に考察し，学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
後期	評論③ ・小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

※令和４年度以降入学生用

	・グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。 ［教材］ 青木保「世界は、いま――『多文化世界』の構築」 夏目漱石「現代日本の開化」	章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。			
	実用の文章① ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 ［教材］ 課題を発見し解決策を発表する	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[話／聞]：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	実用の文章② ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 ［教材］ コミュニケーションの手段を考える	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[話／聞]：目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討している。 c：文章と図が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って条件に即した形で論述しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

※令和４年度以降入学生用

	の自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				
	［教材］ 武村政春「デジタルメディア時代の複製」				

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間